

3類型	鉦工業品	通巻番号	3 - 21 - 122
地域資源名	千葉の清酒	認定日	平成21年11月20日
地域	千葉県勝浦市、鴨川市等	所管省庁	財務省、農林水産省、 国土交通省、経済産業省

**事業名: 未利用資源である「梅」「夏みかん」等果樹類を活用した
リキュール開発販売事業**

会社名: 吉野酒造株式会社

所在地: 千葉県勝浦市植野571

連絡先: TEL: 0470 - 76 - 0215

H P: <http://koshigoi.com/index.html>

FAX: 0470 - 76 - 0168

事業概要(新たな活用の視点)

- ・自社特有の純米吟醸原酒(地域資源である千葉の清酒)を活用した「無添加梅酒」等の製造・販売をおこなう。
- ・地元宿泊施設及び地元梅・果樹農家などと連携して、果樹のオーナー制度を取り入れ、梅・果樹等を消費者自らが収穫し、その収穫物を漬けるオリジナルのリキュールを製造してもらう体験事業を通じて、当社の製品を販売し、自社だけではなく、地域の他業者の活性化にも寄与する事業を展開する。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

競争力

- ・地域資源である「千葉の清酒」を用いた梅酒の製造は、こだわりの「純米吟醸原酒」を用い、厳選された梅・夏みかんを丁寧に下処理し十分漬けることで他社にはない深みのある製品になる。
- ・雄大な自然に囲まれた樹齢数百年の古木群の中にある、当蔵敷地内の横穴式洞窟から出る清冽な天然水(軟水)の良さを最大限に引き出せる製品で他社には真似できないものである。

市場性

- ・梅酒全体の国内マーケットは拡大傾向にある。
- ・試作した梅酒を、蔵を訪ねてくれる常連のお客様や、地元取引業者などに試飲してもらったところ、かなり高い評価を受け、早く正式に製品化して欲しいとの声を聞いている。

販路

- ・現在取引している卸業者、地域の酒店・旅館等を通じて販路の開拓を図るとともに、蔵での直接販売も実施していく。

地域資源における関係事業者との連携

梅農家、果樹農家・宿泊施設と連携し、製品の製造販売、サービスの提供事業を実施していく。

梅農家: 土屋農園(勝浦市)・夏みかん: 高鶴山荘(鴨川市)

卸業者: 千葉酒類販売、(株)カワグチ、滝口酒店

宿泊施設: 松の家、民宿神田、多津美旅館



【横掘り式の井戸】



【当社純米吟醸原酒】



【当社全景】